

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス いと			
○保護者評価実施期間	R7 年 4 月 30 日 ～ R7 年 5 月 16 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11家族	(回答者数)	11家族
○従業者評価実施期間	R7 年 4 月 30 日 ～ R7 年 5 月 16 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 6 月 30 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用対象児童を、小学校高学年～高校3年生までとしているため、将来を見据えての特化した支援が行える。	・個々に応じた作業を準備し、個々の強みや課題を見つけ、より自分らしく生きていく力をつけれるよう支援している。	・厳しい作業ばかりではなく、楽しく活動できるイベントなども盛り込みつつ、まずは継続して利用できるよう活動プログラムの充実を図っていきたい。
2	・活動スペースの広さと、個別ルームがあることで意識を持って活動に取り組める。	・目的に合わせた部屋がある【余暇室・作業室・訓練室（運動部屋）・調理室（おやつなど）】ことで意識を持って活動できている。昨年度、卓球台を設置したことで楽しく身体を動かせる習慣が着いた児童がいたり、それぞれの居場所も充実するようになった。	・個々の居場所づくりを大切に、余暇時間の充実も図っていききたい。
3	・就労見学や体験の機会がある。	・昨年度より関連会社の高齢者事業所との交流を行っている。一般就労の体験の機会を作っていたいたり、「いと」の事業所では体験できない企画を提案していただいたりした。	・就労見学や体験は将来をイメージできる大切な機会なので、今後も体験を重ねていきたい。また関連会社との交流では地域社会への参加を促し社会とのつながりを深めたり、思いやりの心を育んでいけるいい機会となって欲しい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童館との交流や、地域のこども達と活動する機会をとってはいない。	・小学校高学年～高校生を対象とした事業所の為、児童館や児童クラブとの交流より地区の就労事業所や関連会社の高齢者事業所との活動に趣をおきたいと考えている。	・今後、必要に応じて一般就労の見学等も行っていきたい。
2	・保護者会は毎年2回実施していたが、きょうだいに対しての支援はしていなかった。	・事業所のコンセプトとして利用児童が高学年ということもあり、将来へ向けた取り組みが主になっていた。	・今回の保護者評価でもきょうだいへの支援の課題が浮き彫りとなっていた。今期、夏イベントで取り組みを考えている。
3	安全対策や防犯マニュアル、緊急時対応について作成し玄関のところに置いているが、わかりやすい形で保護者への周知が行えていなかった。	・昨年度の避難訓練では保護者様への引き渡し訓練や、安否確認連絡訓練を行っているが、内容について詳しく分かる物を提供できていなかった。	・わかりやすい形で発信できる方法を考えていきたい。